

白百合女子大学

人間総合学部
児童文化学科

キャリア教養学科（須賀川桐陽高校出身）

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

短大への進学が決まった時点で編入することを決めました。センター試験に失敗し4年制大学に落ちたとき、浪人せずにリベンジしたいと考えたからです。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年後期から編入に向けた授業が始まりました。内容は小論文対策、面接練習（課題で志願理由書を提出）が中心でした。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の5月頃に先生方と面談をしていただいたときから始まりました。主にキャリア教養学科の高橋先生に勉強計画の相談、こまめに進捗状況のチェックをしてもらいました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

私は英語の勉強です。1年のときからできるだけ英語の授業は受けるようにしました。テスト対策にも力を入れ、単語は通学中の電車の中で覚えていました。そして1年の12月頃からほぼ毎月TOEICを受験するようにしていました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

編入に限らず、ボランティアやインスタ部そして友人や先生方との出会いによって、自分の進路について深く考え、毎日を大切に生きる原動力になったことです。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

具体的な勉強計画を考えて下さったことです。私は計画倒れしがちだったので、自分のペースを意識しながら勉強計画を考えてくださったことは本当に感謝しています。

Q.①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

① センター試験の失敗で落ち込んでいた。

② 編入に向けて学校生活を頑張ろう。

③ 合格できるか不安。

④ 進路が決まって安心。短大生活同様に頑張る。

Q.これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

桜の聖母短大では様々な学びの環境があります。ぜひこの環境を生かして、自分の進路についてじっくり考えてみてください。編入を目指す子は「自分が編入してまでやりたいこと」を大切にこれからの勉強を頑張ってください。

